

平成24年3月12日

日本学術振興会  
プロセスシステム工学第143委員会  
委員長 平尾雅彦

プロセスシステム工学第143委員会  
第186回委員会・平成24年度第1回研究会 開催通知  
(143委員会ホームページ <http://www.pse143.org/>)

1. 日時：2012年5月11日(金)13:00～12日(土)12:00

2. 場所：晴海グランドホテル

(東京都中央区晴海3-8-1 / 電話：03-3533-7111)

交通：都営地下鉄大江戸線 勝どき駅から徒歩7分

都営バス 晴海三丁目バス停から徒歩2分

晴海トリトンスクエアから徒歩2分

<http://www.maxpart.co.jp/harumi/>

宿泊：晴海グランドホテル (朝食付き)

3. 委員会：5月11日 (金) 13:00～13:15

4. 研究会：

テーマ：143委員会がなすべきこと

第143委員会は存在する価値がありますか？ 第143委員会に貴方は何を求めていますか？ 第143委員会はその期待に応えていますか？ そろそろ、これらの問題に真正面から向き合うべきではないだろうか。プロセスシステム工学分野において産学が連携して技術開発にあたる第143委員会は、これまでに数多くの分科会・ワークショップ活動を実施し、過去数十年の間に素晴らしい実績を残してきた。しかし今、国際社会の中での日本の位置づけも、日本における石油化学産業の位置づけも、そしてプロセスシステム工学の対象も大きく変化しつつある。今後も第143委員会が社会に貢献しつづけるために、第143委員会の活動が参加企業および産学双方の委員にとって高い価値を持ちつづけるために、我々は何をなすべきか。今回の合宿研究会では、この点について徹底的に議論したい。

スケジュール：

<1日目> 5月11日（金）

13:15 ～ 13:20 研究会主旨・スケジュール説明（担当幹事）

13:20 ～ 14:20 講演（話題提供）

「アメリカでのプロセスシステム工学分野における産と学の接点」

川尻 喜章 氏（ジョージア工科大学）

米国の学界と産業界の接点について、以下の3点をジョージア工科大学での実例を交えながら紹介する。1) 産学協同研究：大企業およびベンチャー企業との共同研究事例。2) 産業界への就職を見据えた大学教育：学生の就職活動やインターン事例など。3) 産業界から大学教育へのフィードバック。

14:20 ～ 15:30 日本の企業および大学からのコメント，総合討論

コメンテータ：

高木 岳彦 氏（三井化学・人事部副部長）

船津 公人 委員（東京大学）

15:30 ～ 15:50 グループ分け，休憩

15:50 ～ 18:00 グループディスカッション1

18:00 ～ 20:00 チェックイン／夕食／懇親会

20:00 ～ 22:00 グループディスカッション2

<2日目> 5月12日（土）

09:00 ～ 10:30 グループディスカッション3

10:30 ～ 12:00 各グループからの報告，総合討議

<グループ討議>

- 1) 制御（船津委員，竹田委員，小河委員）
- 2) アラームマネジメント（武田委員，野田委員，樋口委員）
- 3) 安全，リスク（平尾委員，小崎委員）
- 4) 物理モデリング，シミュレーション（関委員，山田委員）
- 5) 省エネルギー（橋爪委員，末吉委員）
- 6) PSE技術ロードマップ（山下委員，響委員）
- 7) 電子材料生産技術（加納委員，半導体メーカー等技術者数名）

（注意）括弧内は担当幹事他。内容は予告なしに変更される可能性があります。

## 5. 申し込み方法

宿泊予約の有無にかかわらず，4月6日（金）までにご回答下さい。なお，宿泊費・懇親会費として12,000円を当日申し受けます。懇親会費のみの場合は，4,000円申し受けます。また，初日は昼食をすませてご参加下さい。12時30分から受付を致します。

出席される場合，参加を希望されるグループ討議のテーマ番号を1～3で順位付けして，出欠と共にご連絡下さい。なお，グループ編成の都合上，必ずしも第1希望のグループにならないかもしれません。ご了承下さい。

東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻

菊池 康紀（E-mail：[admin@pse143.org](mailto:admin@pse143.org)）